飯田市

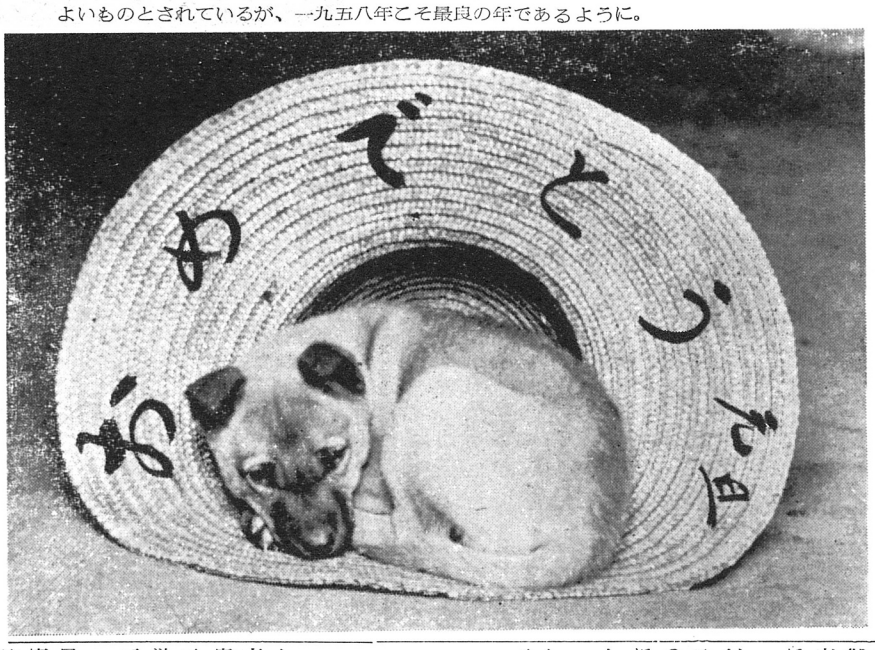
発行所
長理県飯田市公民館
編集人
飯田市公民館新聞委員会

印刷所 信州印刷KK
松本市市上町353

新春

除夜の鐘と共に明けわたった昭和三十三年の新春を迎え、誰しもが今年こそはと決意新たに力強い一歩を踏みしめられた事であろう。

新春の日溜りに日向ぼっこをするワン君も何事か沈思黙考している。犬は昔から縁起のよいものとされているが、一九五八年こそ最良の年であるように。



論説

明朗な市政を望む

五号台風その他多事多端な一九五七年も一つのベールに包まれて遠い彼方に去り輝かしい新春一九五八年を迎えた。

この年度が改まって人間が喜こぶと云う現象は、おそらく文化の時以来の事であろうが吾々もこの美わしい風習に従って先ず賀詞を申述べる。

年の始めは誰でもそうである様に今年こそはと云う意気込みがあるものである。誕生した飯田市、年僅か三才と雖も新しい気概があるに相違ない。

それは飯田市と云う一つの自治体として明朗な市政を行ってもらい度いと云う事である。云う迄もなく之は飯田市政の田園都市建設と並んだ大きなスローガンである事は云う迄もないが、果して全部が全部明朗な市政であったか否かは疑問である。

教育委員会法が改正になってより早や三年目であるが民間選出制度は廃止されて市町村長の任命制度となり教育の民主化はいちじるしく阻害されたかの感を与え、その運用の良識が大きく期待されるに至った。けれども昨年度行われた準委員制度の廃止に伴う二年委員の任命に当って議会側も全然関知していなかった程の独断的人事も余りに議会軽視の感をまぬがれ得ないものであった。

又来年度の予算編成に当っての方針が全部縦割りとは行かぬまでも、教育関係の予算は縦割と云う声も聞かれ又吾々も教育の自主性尊重と教育の機会均等の立場から推してみてもそれを大いに観迎するものである。然し学校建築も山本の体育館、伊賀良のグラウンドと順調に進み、後は緑ケ丘と浜井場とに残されて来た訳であるが、之等の建築も夫々の委員によって進行されては行くものゝ、当初の方針通りに起債、補助金、地元負担の線等、明確に把握して進行される様に希望するものである。

次に現在各地で波瀾を起しつゝある問題に教員の勤務評定なるものがあるが、市教委がどの様な方向に進むかは明確でないが、県当局では運用に誤りなきを期したいと云っている。

以上之にも大いに良識を期待するものであるこれら一連の問題は教育行政関係の反省と今後の大きな課題であり過日の如くに水道料金問題をして市民に不明朗な感じを与え、自治庁の鑑査を要求されるが如き明るさに欠けた市政は繰り返したくないと願つものである経済界の前途、小さくは農村経済の前にはいたずらな希望的観測は許されない。御互に気持をしめ合い、平和と生産をモットーに勤勉にたゆみなく励まなくてはならない。そして納税への義務を果すことこそ明るい市政に寄与出来る吾々の務めであると思うのである。

年頭の挨拶

飯田市長 松井卓治

一言年頭の御挨拶を申述べます。昨年は合併直後の複雑な諸事情にもかゝわらず、大方市民各位の「市造り」に対する情熱的な御努力御協調により、大飯田市の建設に向って、力強い第一歩を踏み出すことが出来ました。

ここに新しく迎えた昭和三十三年こそは、いよ〳〵その基盤を固めるとともに、一大田園都市完成の大計に立ち、着々施策の具体化に歩を進めてゆく第一年と申せましょう。

それがためには、更に誠意を尽し、熱情をかたむけて、未だ合併に至らぬ近隣町村との折衝に当る等、まだ〳〵前途によこたわる幾多の難関を打開してゆかねばなりません。

不肖私も一意専心この「市造り」の聖業に精進致し各位の御期待にそいたいと決心致しております。

どうぞ各位におかれても、御遠慮なく御意見をおきかせ頂きたく本紙々上なども充分御利用の上、建設的な「市民の声」をおよせ下さるようお願い致す次第であります。

飯田市公民館長 矢高束

新年お目出度うございます。今年は私も六十四歳と来て、そろそろかなたに終着駅が見え初めました。死んだら自分は一体どう云うことになるのか皆目分らないまゝ見届けることも出来ないまゝ、死んで行くと思うと、一寸やり切れない気持がいたします。私も三十五年間故郷のお衆の眼の診察をして来ましたが、去年の春から公民館の方で働くことになりました。

初の中は漠然として要領がつかめませんでしたが、近頃おぼろげながら見当がついて参ったような気がいたします。仕事の結果が具体的に目の前に見えませんので、人々はそれほどに思っていないようですが、実は地方の文化が高まって住み心地のよい都市が出来上るためには最も重要な仕事であるらしいのです。若し公民館活動が全然停止したまゝ十年たった他の都市とくらべてごらんなさい。恐らくは大変な差がついているに相違ありません。

どうか本年も一層御理解の上御協力のほどお願い申上げます。

また将来人工衛星がどこまだ発展するか

竣工成った山本中屋体

PD式特許建築

今年の飯田市重点施策の一つとして六月から工事を進めていた山本中学校屋内体操場が去る十月末完成したので山本地区では十一月二、三日に演芸や区民運動会、中学、高校の招待野球など盛大な完工祝賀祭を催した。

同体育館の特徴は、鉄骨の使用量をごく少くしたうえにしかも堅牢だという力学を応用したPD式特殊鉄骨構造で、西鶴摩郡吾妻村妻籠小学校に次ぐ県下二番目に採用された最新の工法である。

鉄骨、木造共にPD式建築の特許をもつ河野建設（東京）の代理店である旭建設（松本）が施工した。間口十間×奥行二十間、総坪数百九十坪のうち百五十坪が鉄骨木造、屋根はアルミ瓦、天井本毛テックス、窓はスチールサッシュ螢光灯、スピーカーは天井へ埋込み、ステージ窓にはPTAの寄付で垂幕暗幕を常備、昼でも暗く出来る。外装はモルタル防火壁の立派なものである。

総工費九百三十五万円で地元寄付金は三百万円。起債二百万円。補助金百九十九万円で許可された通風採光、音響、照明ともに学理的に設計された近代的な体育館で淋しい丘の上に明るいピンク色のスマートな姿を見せている。

【写真は完成した山本中学屋体の全景】

オートバイ・自転車・リヤカーの
御相談は
下平輪店で
竜丘時又電話一一八番
有線五の二番

▼伊賀良

◎一月一日、伊賀良有線放送協会（加入者数千百二十余戸）の第一声が、鶏鳴と共に全地区になり渡った。産業、経済、文化の今後の躍進、発展が期待されて居る。

◎元旦早朝恒例の笠松登山が山を愛する多くの人達によってなされた。当日は烈風の頂上で餅を焼き乍ら御来光を迎えた。

▼座光寺

◎地区内にある書画、骨董、刃剣、出土品、等を集めて生花展と共に十四、十五日公民館で盛大に行われ、ものめずらしい物多数が出品された。

◎昨年完成したばかりの堤防の上流地点が再三の出水で被害を受けたので、今年度三百五十万円で八十四米に渡り護岸に着手し、今冬期中に完成の見込み。

▼龍丘

◎旧村落に住む我々の一番強く希んで居る理事者との話合いが竜丘地区として始めて催された会場は桐林公民館で開れか、理事者側からは、清水助役、池本総務課長、西脇農林課長、今村農業振興課長、宮下土木係長、地元出身の林、伊原、北沢の三議員に今村支所長とが出席しひざをまじえての座談会が約三時間に亘った。

◎他地区では以前から行なわれていたと云う消防団分団幹部の選挙方法が竜丘でも初めてとりいれられた。

▼山本

◎飯田市西部地域新農村建設計画山本地区では去る九月から事業を開始したが本年は、国の特別助成種目の補助対照となる、特別計画にもり込まれた第一年次事業を重点的に実施する。

現在、稚蚕共同飼育所、集乳所二棟、果樹集荷場などの新築工事が進行中であるが、工事期限である十一月が過ぎたので今大急ぎ。

このほか三月までには交換分合三十町歩、農道新設千二十九米がそれ〴〵行なわれる予定。

▼下久堅

◎家族計画研究グループ下久堅支部の研究発表会が去る十二月七日市役所支所二階を会場に盛大に開かれた。この日他地区からの参観者をふくめて約二〇〇名の会員が参加し、二十七の研究体験発表があって幕を閉じた

◎農協創立十周年記念祝賀会当日会場のゆかが抜けて三十数名の重軽傷者を出した惨事の其の後、農協役員の責任総辞職迄進展しそうであったが自治協議会等の仲介で前後策にばんぜんを期し一応総辞職をまぬがれた。

市役所人事移動

飯田市では昨年十二月十日、第二次人事移動を発令した。十一課長を含む二十九名に及ぶ大規模なもので、空席の財政、徴税両課長の補充も行われた。この中には旧村職員九名の係長昇格が含まれている。内訳は次の通りである。

財政課長	宮下新三郎
税務係長	栗崎 英雄
教育会庶務課	長山田 操
建築課長	北原 定治
保健衛生課長	三枝 一也
商工観光課長	牧野 益雄
水道部庶務課長	酒井 篤
徴税課長	清水 藤一
福祉事務所長	北原 淳行
市立病院事務長	岡村 国夫
総務課人事係長	宮沢 邦男
総務課文書係長	北原 卓夫
徴税課徴収係長	田中 富雄
徴税課徴税係長	岩島 雄助
会計課会計係長	原 義直
会計課用度係長	原 光雄
建築課住宅係長	菅沼 甫
保衛課衛生係長	村沢 光男
保衛課国保係長	宮内 省治
土木課都市計画係長	中園 満
加賀沢養老院寮長	林 好男
今宮母子寮長	塩沢 千年
江戸町寮母子長	
水道部上水道係長	上野富士夫
総務課庶務係長	泉 武敏
総務課車輌係長	
総務課勤務	宮沢 邦男
教育委員会勤務	久保田 満
農業委員会勤務	小林 三郎
農業委員会勤務	前沢 五雄
竜丘支所勤務	沖田 一雄

短信

完成した飯田工校

工業技術系の学校設置は長い間の念願で関係者の設置運動も実に力強いものであったがついにかなえられ、去る三十二年十月三十一日に近代的建築のもとに見事な飯田工業高等学校が城山に完成された去る二十八年に飯田市をふくむ一市二〇ケ村からなる飯田工業高校組合が設立され、ついで三十一年四月には設置の認可がおり三十二年二月十日には早くも工事の着手となり、敷地整地工事を有限会社長坂組、建築工事を株式会社三六組、電気工事を新井電気工事株式会社が担当して工事が進められ十月三十一日に竣工となった訳である。校舎の概要は別表で示す通りであるが、普通校と異って技術校だけにきぼも大きく教材も豊富でなければならないが、順次備えられ、充実した工校となるのも真近いと云はれる。

精密工業地としての適当な気候であるためにかんばしい工業化地帯であるため、将来はと力を入れている。現在工業校の設置は実に先明で、新学期をひかえ進学希望者も多いと云われる。飯田工業高校は、大飯田市にとってうれしい成果の一つである。

【写真は工校全景】

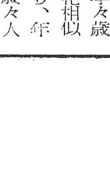
校舎の概要

① 校地 約10,000坪
校舎敷地 約6,700坪
（運動場） 約3,000坪
その他 約300坪

② 校舎その他

名称	室数	坪数
普通教室	9	180.0
理科室	2	53.0
同準備室	1	16.0
製図室	1	55.0
同準備室	1	4.0
図書室	1	49.5
機械工場	1	140.0
鋳造工場	1	60.0
鍛造工場	1	42.0
原動機実験室	1	95.0
構造測定室	1	18.0
材料試験室	1	24.0
木部工場	1	20.0
板金工場	1	18.0
工具室	2	17.5
機械科研究室	1	7.5
校長室	1	19.5
職員室	1	26.0
事務室	1	10.0
会議室	1	33.0
応接室	1	10.0
保健室	1	10.0
宿直室	2	12.0
湯呑場公仕室	2	16.0
放送室	1	3.0
暗室	2	8.5
昇降口		20.0
（体育館）	1	210.0
便所		19.5
その他		190.05
計		1,326.75

（備考（ ）は未完成



▲年々歳々花相似たり、年々歳々人同じからです。

▲三百六十五の日が巡って再び新しい年がやって来た。人々は年が変れば〝おめでとう〟と言い交す習慣と云うものは根強いものでおめでたい事があると無いとに拘らず敢ていこう。

▲合併してから二回目の正月を迎えたわけであるが、次から次と多くの問題が持ちあがるだけで、これはと思う大きな事業は仲々片付かないのが現状である。

▲然し教育関係には自他ともに許すように理事者の熱心さがうかがえる。色々問題はあったが緑ケ丘中学の学舎もどうやら軌道に乗り山本中学の近代的な体育館も立派に完成し、伊賀良中学の総合グランドも着々と進行中である。

▲昨年十月一周年を記念して各地で座談会が開かれた時、しっかりした充分な事業を行うにはやはり不均一課税では駄目だと云う意見が予想外に多く出されたが、然し均一課税にすれば税金があがる事は当然予想される。

▲或る地区では保健税が何倍もはねあがった時、相当極端な意見が出たようであるが、この上更に税金があがれば当然不祥事態が起きる事が予想される。

▲元旦の朝の鶏鳴を空襲きさせない為に理事者も職員も、そして我々市民も共に手をたずさえて前進しようではないか。昭和三十三年の新春を迎えるに当り〝おめでとう〟と云った事が、今年の大毎日になって悔なき年であるように。

（H）

T.H.K.声と声を結ぶ

文化の地に有線放送のない所はない位に迄云われる今日、地区民の熱意と努力の結果、予定日の去る十一月二十三日文化の日に完成する事が出来た。当日は農協本所に於て関係者多数の出席のもとに完成祝賀式が催され、今後の竜丘発展がめざましいものとして喜ばしい。

運営委員会の設置が急務

竜丘農協有線放送（THK）はさ月十五日農協役員会に於て話が持ち上り、二十九日推進委員会が設立され、二十六回の会合が持たれ住民一丸となって完成を急いだ。請負会社は契約金三百八十万で岩崎通信が引受け、東海電気が配線工事を担当、各戸二日の奉仕がされた。

加入戸数六五二、回線数四〇〇で内特別回線九が含まれていて、テレホンも最新形のものがほとんどである。

龍丘を潤す処女放送

計画以来百余日、工事以来一ケ月目の十一月二十三日に完成、同日二時開通式施行され地区内へ喜七二の声が流れた。当開通式は推進委員と招待者を含め百二十名が農協に集まり盛大に開かれ、推進委員長塚平睦雄氏、県中央会広報課長平林武氏等の挨拶があり、岩崎通信、東海電気、加藤則雄氏（東海）に感謝状が送られた。続いて会場は学校に移され青年会の演劇発表で幕を閉じた。

一方それぞ〳〵の回線でも祝賀会が賑に行われ、「作ってよかった」の喜びを分ち合った。

使用回数日に二〇〇〇回

現在この仕事には交換嬢三名が交代制で日に千八百から二千の通話をものにしているが、今後に残された問題として、THKの運営がある。これについて組合長は

塚平組合長談

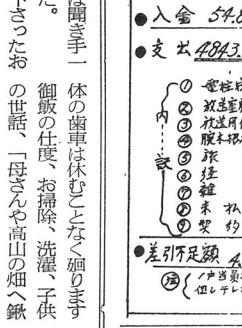
運営委員会を早急に設置し、番組経費、人事等総括的に運営を考へ使用者会員が好都合になる様にし経済、教育、産業、文化の迎易に努力したい。又有線放送がより効果をあげるための有線放送農業協同組合設置の話しが農林省の指導でもちあがっており、将来は飯田市が一つの単位として発足する見透しである。

監査の結果四八〇万円

超スピードの有線放送工事は開通代来早くもここに決算書が出来あがり、十二月十六日の監査会に於いて承認された。

総支出は四百八十四万四千円を差引くと四百七十八万八千余円になるので、これを加入者六百五十二戸が負担することになっている。一戸の負担額は七千十円であるが既に支払われた三千五百拾円が今後の支払う額となる。

そこで未払金は農協で立替え。各戸は長期返還の形で月百円（未決定）すつ支払う事になろう。維持費が大体五、六十円が必要となる見通しで、全額返さいは七、八年を要するものとなろう。



竜丘農協有線放送精算書（昭32.12.3現在）

●入金 54,841円……（内訳 聴取料 会費料 其の他）

●支出 4843.134円

内訳
① 電柱賃 348,978円
② 放送施設費 133,215
③ 放送用備品 73,270
④ 腰本塩太代 80,245
⑤ 旅費 67,114
⑥ 往復 270,092
⑦ 雑費 5,220
⑧ 事務費 65,000
⑨ 契約金 3,800,000

●差引不足額 4,788,293円

（内訳 戸当負担額 7,010円（652戸）但しテレホン 会費は含まない）

【写真説明　THK放送室】

いさましい母さん

桐林婦人文集　「桐の花より」

「あらあらおめずらしい、久し振りで御座いますこと」といきなり声をかけられて、私はぎょっとしました。にこやかな笑顔で私に近づいて来るお客様、さてどなただったかしら「ああK子さんのお母様でございましたわね」と私も思わず近よりました。私がお使いの帰りに電車に乗り遅れてしまい、時間をもて余していたT駅の待合室のことです。

K子さんといえば、お互に結婚して以来、めったに会えないけれど、なんと懐しいクラスメートの一人でしょう。そして会えばいつもK子さんから「うちのおかあさま」と自慢して聞かせて下さるのが、このお客様（お姑さま）でした。

それから三十分後に、私はK子さんと五年ぶりで会いました。是非是非と言われるお姑様の言葉につられて、また懐しい友に会いたいと、駅から三十分程小のぶりの坂を上がって、この家の客となっていました。学校に机を並べた頃のK子さんは口数の少ない、細い長い指をして、西条八十の詩集をいつも鞄の中に入れては、何か夢みるような瞳で、じっと空の彼方をみつめる文学好きなオセンチな少女でした。

それが今私の前にいるK子さんの姿、水玉模様のエプロン、縞のモンペ、あの美しかった白い指には、あかぎれを巻いた伴創膏が目につきます。これがあの頃のK子さんかと、明るく話す口元をみながら、私は只あきれるばかりでした。

K子さんの話は、次から次と絶えず続けられます。子供さんの事御主人の事、お姑様の事等々。学校時代には、おしゃべりは絶対に負けなかった私が、今は聞き手一方に変ってしまいました。

そこへお茶を運んで下さったお姑様が、にっこりして、「私の家ではね、この人のことを、勇ましいかあさんと言いますのよ」と言いました。「え、いさましい」と私は思わず聞き返えしました。

「えゝ忙わしいのではなくて、いさましいのよホホ……」とK子さんと顔を見合せてホ……ホ……と笑い合うのです。「どうしてどうして」と私もつられて笑いながら聞きました。そしてK子さんとお姑様から説明をきき、いさましい母さんと言う名の、まことにふさわしいわれを知りました。

うちの母さんはとても忙しいの夜が明けると一日の活動が始まり体の歯車は休むことなく廻ります御飯の仕度、お掃除、洗濯、子供の世話、「母さんや高山の畑へ鍬をもってナ」と夫の声。「母さんおべべぬれた」と子供の声。「母さんや、あれはどこへやったけ」とお姑様の声。メーメー、モーモーと家畜小屋から聞える時報。こんな毎日にぐちもこぼさない母さんはこの家にとって大事な人、としてつくしているからのこそで、いつまでも勇ましく働いてもらう為には、どうしたら母さんの体を休ませてやれるでしょう」と、家族会議が折々ひらかれることになり、議長はいつも、偉大なる発言をして、わが家を一段と明るくした功労者のとし子ちゃんだそうです。そして家中の人がいさましい母さんを中心に、明るい毎日をすごしていらっしゃるのです。なんとうれしいお話でしょう。

嫁の友達が訪れれば、嫁は座敷で客と語り、お姑様がお茶を運んで下さる。御主人は雪解けの畑から春の先駆者「ふきのとう」をとって来てすすめて下さる。「K子さんはお仕合わせネ」と私は心から言いました。「えゝ父ちゃんもお母様も天下一だからよ」とK子さんは言う。

農家の嫁はまだまだ暗い話の多い中に、なんと美しい誇り。人の前で姑様を夫を、天下一と言えるK子さん自身も、また天下一の嫁

（作者、農業二十九才）

よくやった青年演劇

第四回発表会

竜丘農協有線放送開通祝賀会に併せて行われた第四回青年演劇発表会は去る十一月二十三日竜丘小学校講堂に於て開演された。

この日はなはだしく上演される舞台の様子を各家庭に送り観に来れない人々の為に有線放送は舞台中継をするなど、全地区を挙げてのにぎやかさだった。

龍丘の青年演劇を観る

高坂正男

竜丘の青年演劇発表会は今度で四回になる。

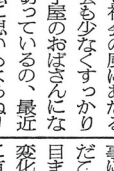
中には会員僅かに数名という支会もあって、人手を要する演劇の上演過程には、相当の困難もあると思われるにもかゝわらず、年々五つの支会が揃って一つづつの演劇を発表し続けているのはまことに立派なことだと思う。

青年演劇の意義を正しく認識して、青年会活動の中でも特に演劇に多くの比重をかけている竜丘青年会の見識のあらわれとみてよかろう。今回の五つの演目は、いずれも青年らしい素直さで選択された作品が出揃い、出来栄えも、これといって見劣りのするものはなかった。ということは、これといって光るものもなく、つまりはどんぐりの背くらべということにならそうだが、断じてそうではない。現段階の青年演劇としては、相当高い水準に於て背が揃っていたのである。サークル演劇と違って、年一回の青年会の演劇では、年々歳々人同じからずで、何回もの経験を重ねたと云う人は存外少くむしろはじめて演劇にタッチしたという人の方が多いにもかゝわらず、年々舞台に成長がみられるということは、一見不思議にも思えるが、それが竜丘の如く確信をもって、この行事を続けているところに、特に著しいしいということで、首肯出来る現象だと思う。

竜丘の青年演劇の今后の躍進を期待して止まない。

（市教委社会教育課主事）

随想リレー



実現したい私の念願

駄科　林十宣　59回

此の三三年来を家庭に入り社会の風にあたる機会も少なくすっかり菓子屋のおばさんになり切っているの、最近の私に思いもよらぬリレーのバトンが渡されコレハ〳〵と思いましたがお断りは聴いて下さらぬとの事にそれでは紙上を汚させていただこうと思いペンを取りました。

目まぐるしく進展する日常生活の変化により竜丘にもたちまちの内に有線放送が完成された事は此の上もない嬉こびであります。

今迄に御年配の方達で電話の受話器すら持たれた事もない方も恐らくおありになった事と思います。

此の放送施設が出来てから始めて御自分の家で顔の見えない婚家先の娘や親しいおじいさんおばあさんと自由にお話をされた御老人もあり便利都合のよさを嬉ろこばれている方もどんなにかおありになる事と思います。

此の後もなお集会に連絡に便利のよさは公私ともに数かぎりなく農繁期に入ってはいっそう有効に使われ、生活面ならずとも婦人子供さん達の進歩にもどんなにか役立つ事でしょう。

そこで私は今一つ地区全民の声と熱意により是非実現していたゞき度い事があるのです。それは飲用水の問題であります。水は毎日の生活にどうしてもなくてはならぬもので一日一人当り三四斗は必要とされて居のだそうです。唯飲むだけの水を遠くから汲んでかついだり櫓やタンクにて濾過したりしてバケツ一ぱいがなか〳〵尊い食器や野さいを洗うため費す労力は大変なものであります。

この様に不自由をしている事は竜丘の現状では数限りない事です汚れた川水の使用は地区的にも桐林長の原駄科等は特にひどく、文明文化を呼ぶ今日余りにも非文化すぎる様な気が致します。

先頃の館報にも保母さんの水道に関する件が載っていましたがどんなに苦労されているかゞ伺われます。

働き者に水をせがまれ濾過作用も完全でない水では一度わかして冷さなくては与える事も出来ず時間に労力に並々ならぬ努力をされている事と思います。

飯田市へ合併すれば水道の実現は日前の様な気がしていました。私達が考える様に簡単な訳にはいかない事もあるでせう。先頃の新聞にも市の水道事業は五ケ年計画として報道されていた様に見受けました。費用水源とあらゆるむづかしい問題が山積されているのでしょうが長引けば長引く程浄水設置簡易水道と作れるものは作るでしょう。しかしそれだけでは明るい完全な村造りは出来ません。地区民全部が安心して使用出来る様になって始めて合理的な情味豊かな社会が建設されるのだと思います。幸にして当地よりも五指の中に数えられる方達が区民の代表として市会に出ていて下さるのですから是非お骨を折って下さる様御願い致します。婦人会の皆様にも主婦の声として大きく呼びかけ一日も早く実現されるはこびになる様有線放送に負けぬ全村民で御願いして見ようではありませんか。が家庭人として日頃念願している事をこの文に綴らせて頂きました。

「次回のバトンを長の原前沢五雄さんに」

公民館は沖田主事

先頃発令された市人事移動に関連して本庁保険衛生課勤務であった沖田一雄主事が塩沢主事に変り公民館担当主事となった。

尚前任者塩沢主事は引続き竜丘支所勤務で農業委員会を中心にその他二、三を担当する。

年頭に際して

龍丘公民館長　橋本玄進

公民館運動の目標は個々の人々が皆、人間としての智慧に目覚めて暮良い家庭、住み良い社会を建設することにあると思うその為には、お爺さんも、お婆さんも、お母さんも、お父さん青年男女も、子供も、一人残らず館活動に参加して頂くことが必要であります。公民館が開設されてから十年余その間色々の困難と戦いながらこの目標に向って努力された皆様に対して、年頭に当って心から敬意を表し合せて新年の御多幸をお祈りします。云うまでもなく人間の生活は無限に進展して行くものです。我々には足らないものばかりですが、希望と勇気を持って新らしい年を迎え度いと思います。

戸籍の窓

十一月分

【出生】

		性別	父の名	部落名
子の氏名				
園原	勝子	女	房雄	駄科
伊藤	恵一	男	隆直	〃
大平	正彦	男	馨	〃
小島	憲一	男	正春	〃
代田	珠美	女	福一	〃
宮島	房恵	女	栄一	時又
下平	節子	女	計三	駄科
北沢	祐子	女	四郎	〃
今村	栄子	女	金太郎	時又
木下	澄子	女	久男	上川路
下井田	昭二	男	卯平	長の原
原	恭子	女	昭三	桐原

【婚姻】

沢柳 清男	正男	駄科	
（下平 節	市瀬 浩	駄科より	喬木村へ
（中島 宗一	松森マミヱ	相森より	東京都昭島市
（倉沢三千子	美濃羽武弘	時又より	岐阜県武儀郡
（小林 和一	斉藤カヅミ	上川路	毛賀より
（中島 雄次	山田さゑ子	相林より	愛知県海部郡
（中島 みゑ	片桐 義雄	桐林	高森町

【死亡】

宮島房次郎	男	五七才	時又
牧島 藤造	男	八一才	駄科
中平 いぞ	女	六六才	駄科
下平 とら	女	五五才	相林

副林昭吉、二三分団長笹岡唯一
副木下彦雄、二四分団長中島忠己
副中島守一

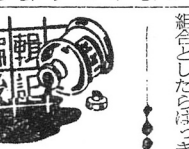
◎飯田市消防団副部長（特課）

機関中田美稔、枚護木下芳雄、ラッパ久保田文二、警護倉沢彦雄

消防幹部決る

◎龍丘中隊幹部

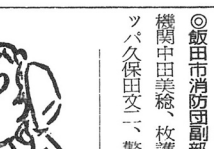
副団長長沼保治、副団長補佐下平飲一、二一分団長下平昭、副久保田和八、二三分団長小木曽昭雄



新年おめでとうございます

合併以来二度目のお正月でお互に落着いた気分だと思います。公民館新聞も今月号で七四号ですが、昭和三十三年度の予算の見当もいまのところつきませんが、我々としては毎月発行出来るように関係方面にお願い致しております。年度変りに関連して部員もふえ若い連中が張切ってやっていく事になりました。新聞は皆様の生活と共に語り進むものです。

小さな事ながら、大きな問題は云うに及ばず、お気付きの点、御意見等建設的な記事をどし〳〵お送り下さい。次号原稿は一月末日迄



▼年末は各種団体の役員は改選され、年あらたまって新役員が活動を始める。当初はいつも「力の限り不肖私が会長として」と云い又聞きなれているが後半はほとんど席を保つのが精の山。或団体では若い会員が多くなって来ているのに長はいぜん古っとお品的存在と世間は云う。又会員はそれを不自然なく選出して平然としておるのは、人工衛星の飛ぶ時代に歴史の話の一つである。

▼今度又養豚組合が発足した。総会にさきがけて有線放送が全員の出席をお願いしていた。養豚組合は前にあったと思っておったのに又出来た。我々は前の組合が解散していたとはしらなんだ。ことによると発足したまゝ宙在していたのかも知らん。別のものならそれはそれで順序よく第一組合、第二組合としたらはっきりするものを

御免なんしょ